

報道関係各位

株式会社 共立総合研究所

第10回「主婦の消費行動に関するアンケート」結果

(株)共立総合研究所(大垣市郭町 2-25 取締役社長 牧野司郎)は、標題アンケートの結果を取りまとめましたのでご紹介します。

1. 主婦の景況感

2001年以來、6年ぶりの大幅悪化

景気が「良くなった」は全体の4.7%、「悪くなった」は全体の37.5%。
両者を差し引いた景況感DIは▲32.8%ポイントとなり、2001年以來の大幅悪化となった。

2. 主婦の物価観

物価は「高くなった」が80.5%

値上がりを感じる商品・サービス	第1位	ガソリン
	第2位	灯油
	第3位	野菜

ガソリンは「仕方ない」と我慢して買い続ける家庭が多数。
値上げされても買い控えできない、車社会の東海地域ならではの事情が垣間見えた。

3. 買物場所の利用頻度

「スーパー」の平均利用回数、年間5.6回減少

「スーパー」「ディスカウントストア」「コンビニエンスストア」「百貨店」の4業態で利用回数は減少。

主婦の目線で考えれば、物価が上がり、日々のやりくりが窮屈になる中で、むやみに買物には出かけない、安いからといって手を出さない。定価品や高級品は抑えて、割安な商品、値打ちな商品を探す。

こつこつと節約を心がける主婦の自衛策が垣間見えた。

発表場所：名古屋金融記者クラブ、資料配布：大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：共立総合研究所 調査部 國枝利久子 TEL 0584-74-2615】

■ 調査概要

1. 調査時期 2007年11月6日～11月13日
2. 調査方法 東京・大阪を除く、大垣共立銀行の本支店に来訪した主婦784名にアンケート用紙を配布・回収。
3. 回答者数 750名（有効回答率95.7%）

		（前年）	
4. 回答者属性	(1) 住所	岐阜県	59.6% (61.7%)
		愛知県	35.9% (34.4%)
		三重県	2.9% (2.4%)
		滋賀県	1.6% (1.6%)
(2) 年齢	20歳代	6.9%	(7.8%)
	30歳代	23.0%	(27.7%)
	40歳代	34.4%	(33.7%)
	50歳代	25.6%	(21.6%)
	60歳以上	10.0%	(9.2%)
(3) 職業	専業主婦	14.2%	(17.4%)
	正社員	31.2%	(32.3%)
	パートタイマー	51.5%	(47.7%)
	内職・その他	3.1%	(2.6%)

(1) 主婦の景況感 2001年以來、6年ぶりの大幅悪化

- 「現在の景気は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「良くなった」は全体の4.7%、「悪くなった」は全体の37.5%となった。
- 「良くなった」と「悪くなった」の回答率の差（景況感DI）からは、改善傾向にあった主婦の景況感が、一気に悪化した様子が見える。大幅な悪化は2001年以來、6年ぶり。

図表1 主婦の景況感

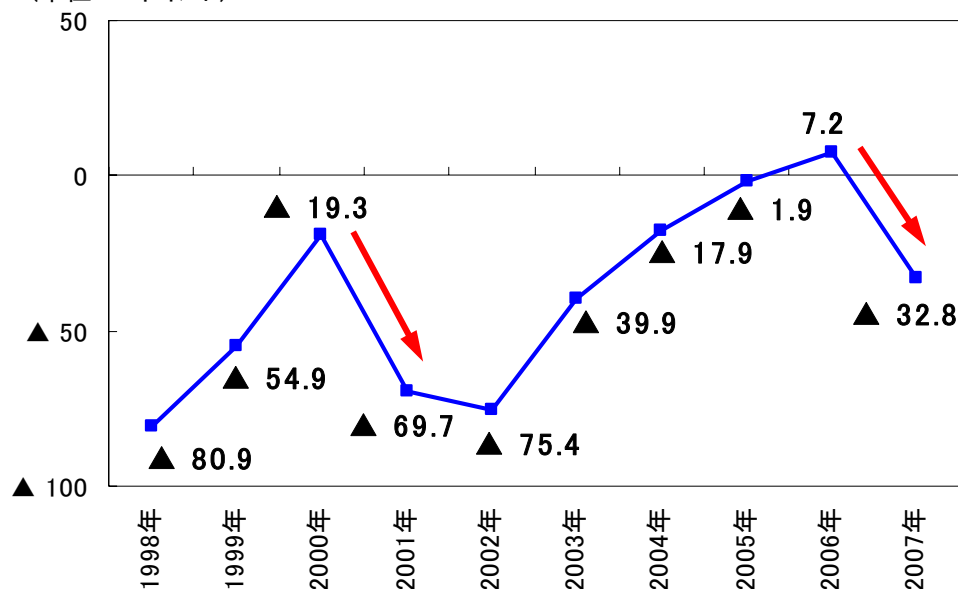
(単位:%)

	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
全体	4.7 (▲10.7)	53.1 (▲20.0)	37.5 (29.3)	4.7 (1.4)
20歳代	5.8 (▲21.3)	55.8 (▲3.5)	17.3 (12.2)	21.2 (12.7)
30歳代	8.2 (▲6.6)	59.1 (▲18.5)	29.8 (23.6)	2.9 (1.5)
40歳代	3.5 (▲12.1)	55.4 (▲19.6)	38.0 (31.0)	3.1 (0.8)
50歳代	2.6 (▲10.2)	47.9 (▲26.5)	46.3 (36.5)	3.2 (0.2)
60歳以上	5.3 (▲7.7)	42.7 (▲18.2)	45.3 (27.9)	6.7 (▲2.0)
岐阜県	3.6 (▲11.2)	49.4 (▲23.4)	42.7 (32.8)	4.3 (1.7)
愛知県	6.3 (▲10.2)	57.8 (▲15.8)	30.6 (24.9)	5.2 (1.0)
専業主婦	4.8 (▲7.4)	49.5 (▲21.5)	39.0 (30.6)	6.7 (▲1.7)
正社員	5.2 (▲16.9)	53.9 (▲9.2)	35.3 (22.2)	5.6 (4.0)
パート	4.4 (▲8.4)	54.6 (▲26.0)	38.4 (34.0)	2.6 (0.4)

(注) 括弧内の数字は、前年回答率との差。

図表2 景況感DI(良くなった-悪くなった)の推移

(単位: %ポイント)



(2) 主婦の物価観 物価は「高くなった」が80.5%

- 「最近の物価は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「高くなった」が全体の80.5%となり、前年比56.8%ポイントの大幅な増加となった。
- 「最近、値段が上がったと思う、商品やサービスは何ですか」（自由回答、3つまで）と尋ねたところ、1位「ガソリン」、2位「灯油」、3位「野菜」となった。ガソリンの回答率は突出して高い。
- さらに「値上がりによって、購入への影響は出ていますか」と尋ねたところ、1位のガソリンについては「必要なので我慢して買い続けている」という、“耐える”回答がトップとなった。車社会である東海地域では、自家用車を通勤に使う家庭も多く、値上げされても買い控えはできない、当地ならではの事情が垣間見えた。

図表3 主婦の物価観

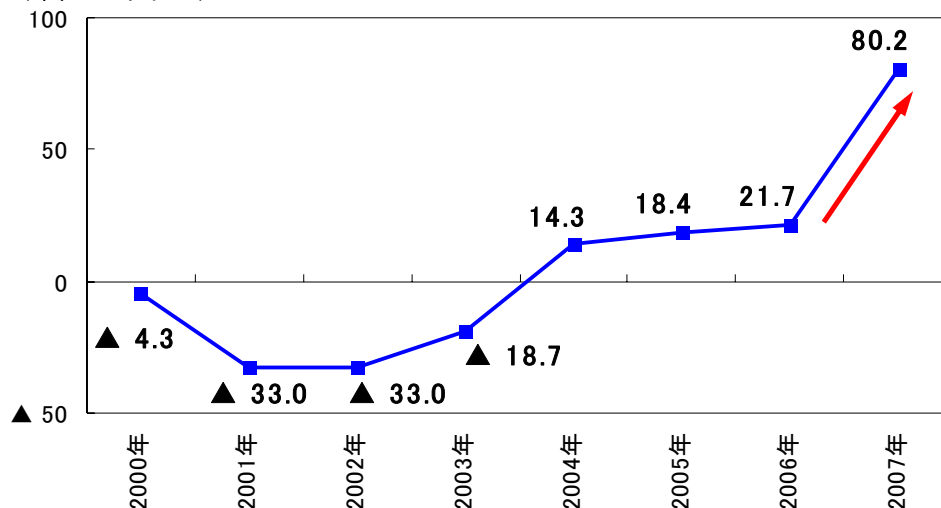
(単位:%)

	高くなった	変わらない	安くなった	わからない
全体	80.5 (56.8)	16.6 (▲ 54.4)	0.3 (▲ 1.7)	2.7 (▲ 0.6)
20歳代	75.0 (49.6)	7.7 (▲ 58.4)	0.0 (0.0)	17.3 (8.8)
30歳代	82.0 (59.6)	16.9 (▲ 57.9)	0.0 (▲ 1.0)	1.2 (▲ 0.7)
40歳代	81.6 (57.3)	17.2 (▲ 54.6)	0.0 (▲ 2.0)	1.2 (▲ 0.8)
50歳代	81.8 (56.8)	17.2 (▲ 49.3)	0.5 (▲ 3.2)	0.5 (▲ 4.4)
60歳以上	74.3 (52.9)	17.6 (▲ 53.8)	1.4 (▲ 1.5)	6.8 (2.5)
岐阜県	80.3 (56.5)	16.6 (▲ 53.2)	0.4 (▲ 2.0)	2.7 (▲ 1.4)
愛知県	80.1 (55.2)	16.9 (▲ 54.4)	0.0 (▲ 1.5)	3.0 (0.7)
専業主婦	79.2 (59.2)	17.9 (▲ 54.4)	0.0 (▲ 2.3)	2.8 (▲ 2.6)
正社員	78.1 (48.6)	15.9 (▲ 50.1)	0.4 (▲ 0.8)	5.6 (2.3)
パート	82.7 (61.3)	16.3 (▲ 58.7)	0.3 (▲ 1.6)	0.8 (▲ 0.9)

(注)括弧内の数字は、前年回答率との差。

図表4 物価観DI（高くなった-安くなった）の推移

(単位: %ポイント)



図表5 最近、値上がりを感じた商品・サービス(自由回答<3つまで>)

		回答 件数	全回答 (回答件数1,387件) に占める割合	全回答者 (750人) に占める割合
1位	ガソリン	630 件	45.4 %	84.0 %
2位	灯油	101 件	7.3 %	13.5 %
3位	野菜	60 件	4.3 %	8.0 %
4位	ティッシュペーパー	55 件	4.0 %	7.3 %
5位	トイレトペーパー	50 件	3.6 %	6.7 %

値上がりによる、購入への影響 (自由回答)

■第1位『ガソリン』の場合

必要なので我慢して買い続けている (類似意見 187 件)
 遠出やレジャーなど、車での外出を控える (類似意見 68 件)
 むやみに乗らない (類似意見 60 件)
 近い場所へは徒歩、あるいは自転車で移動 (類似意見 54 件)
 安いスタンドで給油 (類似意見 46 件)
 セルフガソリンスタンドの利用 (類似意見 33 件)
 安い日を狙って給油 (類似意見 14 件)
 以前と変わりなし (類似意見 14 件)
 公共交通機関 (電車やバス) の利用 (類似意見 13 件)
 自宅にある車のうち、より燃費の良いものを利用 (類似意見 11 件)
 割引率の高いカード (クレジット、プリペイド、会員カード) を利用 (類似意見 11 件)
 アイドリングストップなど、エコ運転 (類似意見 10 件)
 用事はまとめて済ます (類似意見 9 件)
 車の買い替え・新規購入 (類似意見 7 件)
 満タンは止めて、金額指定・量指定 (類似意見 5 件)
 安い銘柄を選ぶ (類似意見 2 件)
 近くで買い物を済ませる (1 件)
 ガソリンがカラになっても、すぐに給油しない (1 件)
 給油種類をハイオクからレギュラーに変更 (1 件)

■第2位『灯油』の場合

必要なので我慢して買い続けている (類似意見 31 件)
 ヒーターの温度設定を下げるなど、節約を心がける (類似意見 15 件)
 安いスタンドで購入 (類似意見 8 件)
 他の暖房に変更 (類似意見 7 件)
 寒くても、なるべく我慢 (類似意見 6 件)
 厚着をする (類似意見 3 件)
 安い日を狙って購入 (類似意見 2 件)
 配達依頼を止めた (1 件)
 セルフスタンドの利用 (1 件)
 オール電化に変更 (1 件)
 エコを考えた利用 (1 件)
 値上がる前にまとめ買い (1 件)

■第3位『野菜』の場合

特売日など、安い時を狙って購入 (類似意見 13 件)
 仕方なく購入している (類似意見 11 件)
 安いもの (値打ち品や根菜類、値上がりの少ない野菜) を購入 (類似意見 8 件)
 必要な分のみ買う (類似意見 5 件)
 無駄を出さず、腐らせず使い切る (類似意見 4 件)
 チラシなどを比較して、安い店を探す (類似意見 3 件)
 自分で作る (1 件)
 高い野菜 (旬でない野菜) は買わない (1 件)
 冷凍野菜に代える (1 件)

(3) 家計の収支 収入は減少でも、支出は「増やさざるを得ず」

- 「今年の家計収入は、昨年と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」は全体の14.7%、「減った」は全体の30.3%となった。
- 一方で、「今年の家計支出は、昨年と比べてどうなりましたか」尋ねたところ、「増えた」は全体の71.5%、「減った」は全体の5.2%となった。
- 収入の増減が、支出に与える影響について見たところ、「収入が減った」家庭でも約7割が「支出は増えた」と回答した。その主因が、ガソリン価格をはじめとする諸物価の上昇といった“増やさざるを得ない”状況によることが、次頁「支出が増えた費目」からうかがえた。

図表6 収入

(単位:%)

	増えた	変わらない	減った
全体	14.7 (▲ 3.0)	55.0 (2.4)	30.3 (0.6)
20歳代	23.1 (1.1)	57.7 (0.1)	19.2 (▲ 1.1)
30歳代	30.0 (▲ 1.0)	50.0 (▲ 2.9)	20.0 (3.8)
40歳代	10.5 (▲ 3.6)	64.7 (8.6)	24.8 (▲ 5.0)
50歳代	6.3 (▲ 2.2)	51.3 (3.7)	42.4 (▲ 1.5)
60歳以上	10.7 (2.1)	40.0 (▲ 7.1)	49.3 (5.0)
岐阜県	15.1 (0.3)	53.3 (0.0)	31.7 (▲ 0.2)
愛知県	14.6 (▲ 9.9)	56.7 (7.7)	28.7 (2.3)
専業主婦	16.2 (▲ 2.9)	46.7 (▲ 3.7)	37.1 (6.6)
正社員	9.4 (▲ 8.6)	57.5 (4.2)	33.0 (4.3)
パート	18.3 (0.8)	55.5 (2.2)	26.2 (▲ 3.0)

(注)括弧内の数字は、前年回答率との差。

図表7 支出

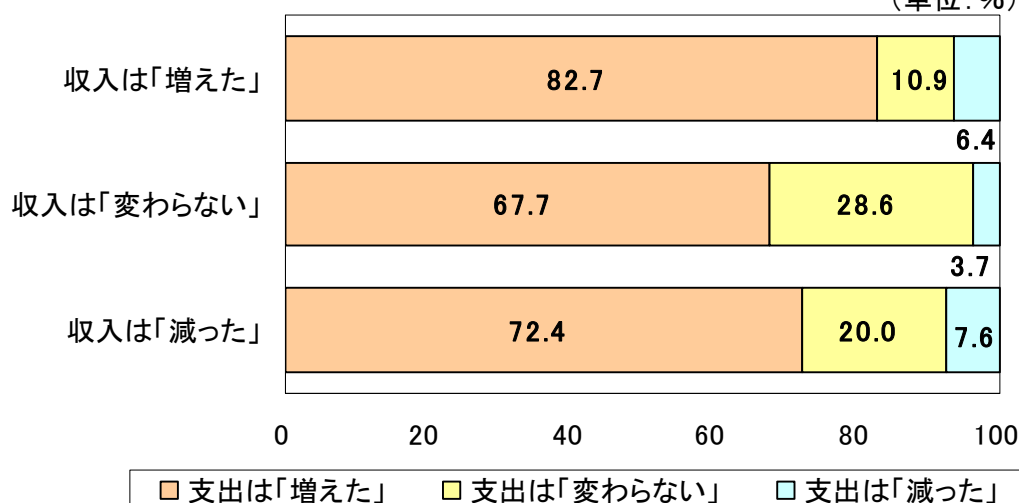
(単位:%)

	増えた	変わらない	減った
全体	71.5 (3.1)	23.3 (▲2.5)	5.2 (▲0.7)
20歳代	57.7 (▲6.7)	38.5 (4.6)	3.8 (2.1)
30歳代	77.3 (3.3)	19.2 (▲2.0)	3.5 (▲1.3)
40歳代	79.8 (5.0)	16.3 (▲3.8)	3.9 (▲1.2)
50歳代	65.3 (6.3)	27.4 (▲3.7)	7.4 (▲2.5)
60歳以上	54.1 (1.2)	36.5 (▲4.9)	9.5 (3.8)
岐阜県	74.8 (5.0)	20.4 (▲4.3)	4.7 (▲0.7)
愛知県	67.2 (0.5)	27.6 (0.8)	5.2 (▲1.3)
専業主婦	67.9 (2.5)	26.4 (▲2.8)	5.7 (0.3)
正社員	68.0 (▲0.6)	26.4 (1.3)	5.6 (▲0.7)
パート	74.2 (4.3)	21.1 (▲3.1)	4.7 (▲1.1)

(注)括弧内の数字は、前年回答率との差。

図表8 収入と支出の関係

(単位:%)



(4) 支出が増えた費目

1位「交通・通信費」、2位「食費」、3位「光熱・水道費」

■ 「今年の家計支出を考えたとき、昨年より支出が増えた費目は何ですか」（あてはまるもの全て選択）と尋ねたところ、1位「交通・通信費」、2位「食費」、3位「光熱・水道費」となった。ガソリン価格の上昇、食品の値上げなどに、主婦は敏感に反応している。

■ 1999年から8年間、トップは常に「教育費」であった。

ただし教育費は例年、主婦が40歳代を迎える世代で最も負担が重く、この時期を越えると、家計への負担は一気に軽くなる。

2007年の結果も、例年同様、40歳代にとっては「教育費」の増加こそ、家計に与える最大のインパクトとなった。にもかかわらず、全体として「交通・通信費」が1位になったのは、物価の上昇という、全ての家庭に共通するハードルが発生したためといえる。

図表9 支出が増えた費目（上位3費目）

2007年			2006年		
1位	交通・通信費	55.7%	1位	教育費	37.6%
2位	食費	41.8%	2位	交通・通信費	37.2%
3位	光熱・水道費	41.4%	3位	食費	29.9%

図表10 支出が増えた費目（複数回答くいくつでも）

（単位：％）

	交通・通信費	食費	光熱・水道費	教育費	交際費	保健医療費	家電・家具購入費	衣料費	レジャー費	外食費	住居費	保険料	教養娯楽費	家事用品費	仕送り	理容・美容費	その他
全体	55.7	41.8	41.4	34.3	25.7	24.0	23.5	15.7	15.3	15.2	14.2	14.1	9.2	7.9	5.6	4.6	3.6
20歳代	62.7	49.0	39.2	11.8	29.4	13.7	3.9	11.8	33.3	21.6	7.8	9.8	11.8	2.0	0.0	5.9	2.0
30歳代	58.8	47.6	39.4	49.4	14.1	16.5	18.8	17.1	17.6	17.1	10.0	11.8	17.6	5.3	0.6	2.4	4.1
40歳代	54.2	37.9	37.9	58.5	20.6	17.4	22.5	20.9	8.7	11.5	12.3	14.6	8.7	5.9	11.5	5.9	4.3
50歳代	57.7	42.9	46.0	5.8	37.0	32.3	31.2	10.6	14.3	15.3	22.8	14.8	2.6	12.2	5.3	2.6	3.2
60歳以上	44.1	32.4	48.5	2.9	39.7	52.9	32.4	10.3	22.1	19.1	13.2	19.1	5.9	14.7	1.5	10.3	1.5
岐阜県	55.4	44.4	44.6	34.4	26.9	20.7	23.5	16.9	14.4	14.8	14.4	14.4	9.3	8.4	5.9	5.0	4.1
愛知県	56.7	36.0	34.1	34.1	24.5	28.7	23.4	14.2	16.9	14.9	14.6	13.0	9.6	6.9	5.4	3.8	3.1
専業主婦	51.0	46.2	38.5	26.0	28.8	34.6	19.2	12.5	22.1	20.2	17.3	14.4	16.3	14.4	4.8	4.8	4.8
正社員	56.8	40.1	41.0	24.8	27.0	24.3	20.3	13.1	15.8	17.6	15.8	16.2	7.2	7.7	6.8	5.4	2.3
パート	57.3	42.0	42.0	42.7	24.3	20.6	25.9	18.2	13.2	12.4	12.4	12.9	8.4	5.5	5.0	4.2	4.0
収入増加(注2)	62.4	47.7	39.4	40.4	26.6	16.5	23.9	26.6	20.2	22.9	14.7	15.6	16.5	6.4	3.7	5.5	5.5
収入減少(注3)	57.8	47.1	48.9	25.6	33.6	35.4	25.6	14.3	12.1	14.8	16.6	18.8	6.7	12.6	8.1	4.9	2.7

(注1) 網掛けは、年代別等から見て、最も回答率の高い費目

(注2) 前問の「収入」で、「増えた」と答えた家庭

(注3) 前問の「収入」で、「減った」と答えた家庭

(5) 支出が減った費目

1位「レジャー費」、2位「外食費」、3位「衣料費」

- 「今年の家計支出を考えたとき、昨年より支出が減った費目は何ですか」（あてはまるもの全て選択）と尋ねたところ、1位「レジャー費」、2位「外食費」、3位「衣料費」となった。昨年同様、不要不急の出費を抑える傾向に変わりはない。

図表11 支出が減った費目（上位3費目）

2007年			2006年		
1位	レジャー費	39.8%	1位	レジャー費	33.0%
2位	外食費	31.7%	2位	外食費	24.9%
3位	衣料費	26.9%	3位	衣料費	17.7%

図表12 支出が減った費目（複数回答<いくつでも>）

（単位：％）

	レジャー費	外食費	衣料費	教養 娯楽費	家電・ 家具 購入費	理容・ 美容費	食費	交際費	教育費	交通・ 通信費	家事 用品費	光熱・ 水道費	保険料	保健 医療費	住居費	仕送り	その他
全体	39.8	31.7	26.9	17.4	15.8	15.3	12.6	11.0	9.1	7.0	6.5	6.2	6.1	5.4	4.1	3.5	2.2
20歳代	22.0	26.8	19.5	17.1	22.0	17.1	12.2	2.4	2.4	7.3	0.0	2.4	7.3	0.0	0.0	2.4	4.9
30歳代	36.2	24.6	21.0	18.1	15.2	17.4	10.1	14.5	3.6	9.4	5.1	9.4	2.9	5.8	5.1	0.0	2.2
40歳代	47.0	35.5	24.0	13.8	14.3	13.8	13.4	11.5	7.4	4.1	6.0	5.1	4.6	6.9	2.3	0.9	2.3
50歳代	39.5	30.5	32.3	21.6	16.8	17.4	13.2	10.2	18.0	7.8	10.2	5.4	7.2	3.6	6.0	9.0	1.2
60歳以上	35.9	40.6	40.6	17.2	14.1	9.4	14.1	9.4	7.8	9.4	6.3	7.8	14.1	7.8	6.3	6.3	3.1
岐阜県	42.0	32.4	29.5	17.6	16.8	17.3	13.3	10.9	8.8	6.1	6.4	6.6	6.4	4.5	3.7	3.7	1.1
愛知県	34.5	30.1	23.1	16.2	14.4	10.9	11.8	9.6	8.3	7.9	7.0	6.1	5.2	6.6	5.2	2.6	4.4
専業主婦	41.1	28.9	34.4	18.9	11.1	12.2	12.2	13.3	8.9	10.0	4.4	6.7	6.7	3.3	3.3	7.8	2.2
正社員	37.0	31.3	28.6	22.4	18.2	14.1	14.1	12.0	8.3	8.9	7.3	7.3	7.3	5.7	5.2	2.6	2.6
パート	42.3	32.7	23.5	13.6	15.4	17.0	11.1	9.9	9.3	4.6	7.1	5.2	5.6	5.6	3.1	3.1	1.9

（注）網掛けは、年代別等から見て、最も回答率の高い費目。

(6) 今以上に“切り詰めたい”費目 1位「光熱・水道費」

- 「今年の家計支出を考えたとき、今以上に、切り詰めたい費目は何ですか」（3つまで選択）と尋ねたところ、1位「光熱・水道費」、2位「食費」、3位「外食費」となった。

主婦にとって日々の生活で最も目に付きやすく、家族や自分の努力次第で節約できる費目のランクインとなった。

図表13 今以上に、切り詰めたい費目(複数回答<3つまで>)

(単位:%)

	光熱・水道費	食費	外食費	衣料費	交通・通信費	レジャー費	家電・家具購入費	交際費	保険料	教養娯楽費	家事用品費	保健医療費	住居費	美容・美容費	教育費	仕送り	その他
全体	46.7	38.0	31.8	23.8	23.8	18.8	12.1	10.9	10.2	6.8	5.3	4.9	4.6	4.0	2.2	0.3	0.7
20歳代	50.0	52.0	28.0	20.0	30.0	16.0	4.0	10.0	8.0	6.0	8.0	0.0	4.0	2.0	4.0	0.0	0.0
30歳代	50.6	48.1	38.1	14.4	25.0	17.5	5.6	10.0	7.5	7.5	5.0	3.1	3.1	3.8	1.9	0.0	0.0
40歳代	46.2	40.6	29.5	23.5	21.4	18.4	15.0	9.8	10.7	7.3	5.1	4.3	4.3	3.8	3.4	0.4	1.3
50歳代	46.5	27.9	30.2	29.7	24.4	19.8	14.5	14.5	11.6	5.8	3.5	6.4	5.8	4.1	1.2	0.6	1.2
60歳以上	36.7	18.3	30.0	35.0	23.3	23.3	18.3	8.3	13.3	6.7	10.0	11.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0
岐阜県	47.8	40.9	34.4	25.2	22.8	20.0	12.7	8.2	10.1	7.2	5.8	3.6	3.6	4.8	1.9	0.0	0.7
愛知県	43.8	32.6	28.8	21.0	26.6	18.0	11.6	15.0	9.4	5.6	5.2	6.4	6.4	3.0	3.0	0.9	0.9
専業主婦	35.8	35.8	33.7	26.3	25.3	21.1	14.7	15.8	6.3	5.3	7.4	6.3	6.3	3.2	1.1	0.0	0.0
正社員	46.7	32.5	32.0	19.8	27.9	20.3	10.2	12.2	9.6	6.6	5.6	5.6	4.1	3.6	2.5	0.5	0.5
パート	50.4	41.3	31.0	25.5	22.4	16.6	12.7	9.1	11.1	7.5	4.4	4.2	3.6	4.4	2.5	0.3	1.1

(注) 網掛けは、年代別等から見て、最も回答率の高い費目。

(7) 今以上に“増やしたい”費目 1位「レジャー費」

- 「今年の家計支出を考えたとき、今以上に、支出を増やしていきたい費目は何ですか」（3つまで選択）と尋ねたところ、1位「レジャー費」、2位「教養娯楽費」、3位「教育費」となった。堅実に家計を守る主婦が、日々の生活に“ゆとり”と求めている姿がうかがえる。

図表14 今以上に、増やしたい費目(複数回答<3つまで>)

(単位:%)

	レジャー費	教養娯楽費	教育費	家電・家具購入費	食費	住居費	衣料費	外食費	交通・通信費	美容・美容費	保健医療費	家事用品費	交際費	保険料	光熱・水道費	仕送り	その他
全体	44.4	25.6	21.8	13.0	12.6	11.5	10.8	8.7	5.9	4.8	4.1	3.6	3.6	2.7	1.8	1.8	4.8
20歳代	51.2	17.1	22.0	4.9	0.0	2.4	14.6	12.2	2.4	17.1	0.0	0.0	7.3	9.8	0.0	0.0	9.8
30歳代	48.3	24.1	33.8	14.5	7.6	7.6	11.0	7.6	6.2	6.2	2.8	3.4	1.4	1.4	0.7	0.0	2.8
40歳代	36.5	22.7	32.6	12.2	13.3	12.7	9.4	8.3	6.1	2.8	4.4	3.3	2.2	1.1	0.6	4.4	5.5
50歳代	47.6	28.7	2.8	17.5	17.5	12.6	10.5	9.1	5.6	2.1	4.9	5.6	5.6	4.2	2.8	1.4	4.2
60歳以上	46.2	38.5	3.8	5.8	21.2	23.1	13.5	9.6	7.7	5.8	7.7	1.9	5.8	1.9	7.7	0.0	5.8
岐阜県	41.2	25.1	22.7	12.5	13.1	12.5	11.9	7.2	7.2	5.1	3.0	4.8	3.6	3.0	2.4	2.4	5.1
愛知県	48.5	27.5	22.1	12.7	11.3	10.3	8.8	9.8	3.4	4.4	6.4	2.0	3.4	2.0	1.0	1.0	4.4
専業主婦	41.6	31.5	23.6	14.6	15.7	15.7	6.7	9.0	6.7	5.6	5.6	5.6	2.2	2.2	1.1	0.0	2.2
正社員	44.6	29.8	17.3	10.7	8.9	8.9	13.1	7.1	4.8	3.6	4.2	2.4	4.8	4.2	3.0	0.0	4.8
パート	45.8	21.1	23.6	14.4	14.1	12.0	10.2	9.5	6.0	5.3	3.9	3.2	3.2	2.1	1.4	3.2	5.3

(注) 網掛けは、年代別等から見て、最も回答率の高い費目。

(8) 買物場所 「スーパー」の平均利用回数、年間5.6回減少 利用頻度から“主婦の節約心”が垣間見える

■ 買物場所（11業態）の利用頻度を尋ねて、1年間の平均利用回数に換算したところ、「スーパー」が最多の157.2回となった。およそ2日に1度の頻度で利用されている。

■ 今年注目されるのは、「スーパー」「コンビニエンスストア」「ディスカウントストア」「百貨店」の4業態で、利用回数が減少した点である。特に、スーパー、ディスカウントストア、百貨店は、年代別などから見ても幅広い家庭で利用が減少した。

主婦の目線で考えれば、買物へ行く回数が増えれば「ついで買い」も増える。出費を抑えるためには、むやみに買物に出かけない、安いからといって手を出さない。さらに、定価品や高額品の利用を抑えて、割安な商品、値打ちな商品を探す。

物価が上がり、日々の家計のやりくりが窮屈さを感じる中で、こつこつと節約を心がける主婦の自衛策が、垣間見えたように思われた。

図表15 買物場所(11業態)の年間平均利用回数

(単位:回)

	スーパー	コンビニエンスストア	ドラッグストア	複合型SC	ホームセンター	商店街
全体	157.2 (▲ 5.6)	69.8 (▲ 3.4)	40.4 (2.9)	26.3 (1.4)	18.9 (0.9)	17.6 (2.5)
20歳代	118.6 (▲ 8.3)	122.8 (2.2)	47.3 (4.8)	32.4 (7.6)	17.6 (6.0)	6.1 (▲ 1.7)
30歳代	133.1 (▲ 6.4)	74.4 (▲ 4.0)	43.3 (▲ 1.1)	24.8 (▲ 2.9)	14.8 (▲ 1.8)	7.6 (0.1)
40歳代	174.3 (▲ 5.1)	68.2 (▲ 8.5)	41.9 (3.1)	28.4 (4.4)	17.3 (▲ 1.5)	13.9 (0.2)
50歳代	169.5 (▲ 4.2)	57.6 (1.9)	35.0 (3.5)	25.0 (2.5)	24.5 (3.4)	27.0 (▲ 0.3)
60歳以上	148.6 (▲ 29.3)	53.1 (8.6)	37.6 (16.3)	21.1 (▲ 4.4)	21.4 (3.6)	41.6 (20.9)
岐阜県	148.4 (▲ 5.5)	75.6 (0.2)	38.6 (1.1)	28.3 (7.5)	19.8 (1.4)	16.8 (0.5)
愛知県	175.1 (1.0)	63.9 (▲ 10.8)	43.3 (6.4)	22.9 (▲ 6.8)	17.5 (▲ 0.2)	18.5 (5.6)
専業主婦	134.1 (▲ 14.2)	51.8 (▲ 15.1)	42.9 (1.8)	26.3 (▲ 3.6)	17.8 (▲ 0.6)	21.8 (9.9)
正社員	138.4 (▲ 2.1)	97.1 (▲ 2.0)	38.4 (6.4)	23.7 (3.5)	17.7 (1.2)	22.9 (3.6)
パート	175.6 (▲ 9.4)	59.1 (1.4)	42.0 (2.3)	27.6 (1.7)	20.2 (1.1)	14.4 (2.1)
利用頻度 (単位:日)	2.3 (0.1)	5.2 (0.2)	9.0 (▲ 0.7)	13.9 (▲ 0.7)	19.4 (▲ 0.9)	20.7 (▲ 3.5)

	100円ショップ	ディスカウントストア	通信販売	百貨店	家電量販店
全体	16.4 (0.4)	15.9 (▲ 3.9)	6.8 (1.2)	6.4 (▲ 1.5)	6.0 (0.0)
20歳代	19.0 (2.8)	20.5 (▲ 0.3)	5.6 (▲ 3.0)	8.9 (0.4)	7.0 (0.5)
30歳代	17.9 (1.0)	13.2 (▲ 5.9)	12.6 (5.4)	4.5 (▲ 2.3)	4.5 (▲ 2.4)
40歳代	16.9 (1.0)	17.8 (▲ 1.8)	6.0 (2.3)	5.1 (0.1)	7.0 (1.4)
50歳代	12.5 (▲ 2.3)	13.8 (▲ 9.2)	4.5 (0.4)	8.6 (▲ 3.6)	6.3 (0.0)
60歳以上	18.2 (1.4)	17.8 (4.0)	4.4 (▲ 3.5)	8.8 (▲ 1.9)	4.8 (0.8)
岐阜県	15.4 (▲ 0.6)	14.8 (▲ 5.7)	7.4 (2.2)	5.5 (▲ 1.4)	6.7 (0.1)
愛知県	17.9 (1.8)	15.2 (▲ 3.3)	6.9 (2.0)	8.3 (▲ 1.6)	5.1 (▲ 0.4)
専業主婦	17.3 (1.6)	14.2 (▲ 0.9)	10.7 (7.1)	9.3 (▲ 1.7)	5.9 (0.3)
正社員	13.7 (▲ 2.0)	15.8 (0.4)	5.8 (▲ 3.1)	8.3 (▲ 1.3)	5.4 (▲ 1.3)
パート	17.6 (1.0)	15.8 (▲ 8.1)	6.5 (2.6)	4.6 (▲ 0.8)	6.6 (0.8)
利用頻度 (単位:日)	22.3 (▲ 0.6)	22.9 (4.5)	53.9 (▲ 11.4)	56.9 (10.6)	60.7 (0.3)

(注1) 括弧内の数字は、前年の平均利用回数との差。

(注2) 利用頻度とは、何日ごとに1回利用しているか、間隔を日数で表したもの。